

ペルセウス座流星群を見よう！



<ペルセウス座流星群>

8月中旬、毎年たくさんの流れ星を見せてくれるのが「ペルセウス座流星群」です。「しぶんぎ座流星群」や「ふたご座流星群」とともに三大流星群の一つとしても有名です。

2018年のペルセウス座流星群は、8月12日から13日にかけての夜が流れ星を多くみられる予想です。13日の午前10時が流星群のピークですので、13日の明け方に近いほど流れ星が多く出現しそうです。

2018年8月13日（月）午前2時ごろの星空



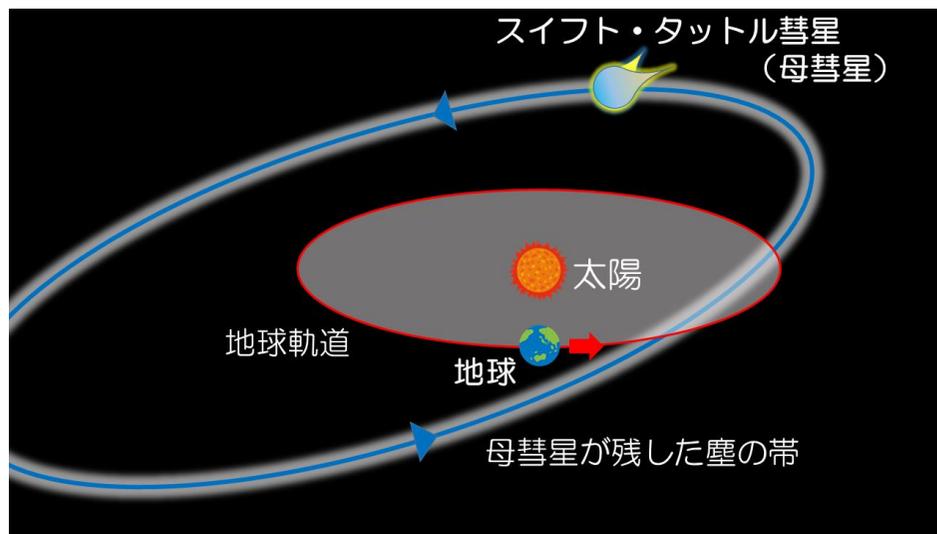
<13日の早朝に星空を見上げてみよう！>

上図は13日午前2時の星空です。“北東”にペルセウス座が昇ってきていますね。カシオペア座の「W（ダブルユー）」の星並びを目印に北東方向を見上げると流れ星を見つけられると思いますよ！

2018年は月灯かりの影響もなく観察条件は最高です。さあ、夏の夜空に願い事をしに出かけてみませんか！？ レッツ・スターウォッチング♪

<流れ星って…！？>

流れ星は、宇宙にある塵が高速で地球の大気とぶつかって光り出す現象です。特に明るい流れ星は”火球”と呼ばれます。そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくる場合があります。これが「隕石」です。



<流れ星のもと”塵”はどこからくるの！？>

流れ星は宇宙の塵だと言いましたがいったいどこからやってくるのでしょうか？実は、流星群には塵を運んでくる”彗星（ほうき星）”と呼ばれる星が存在します。この彗星が通った後にはたくさんの塵がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵が地球の大気に入ってくるためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。

<観察のポイント>

- ◆あきらめずに決めた場所をじっくり観察しましょう！
- ◆肉眼で一方向を観察しましょう！
- ◆できれば街灯かりの少ない場所を選んで観察しましょう！

※小・中・高校生のみなさんは必ず大人のひとと一緒に出掛けましょう。

